

泉陽会
会報



編集発行・大阪府立泉陽高等学校
同窓会 泉陽会
〒590-0943 堺市堺区車之町東3丁2番1号
大阪府立泉陽高等学校内
TEL (072) 227-6030
FAX (072) 232-0005
URL <http://senyokai.jp/>
印刷：宏和印刷株式会社 代表取締役 鈴木 涼

母校への通学駅

～あなたはどの駅を利用していましたか？～



阪堺電車 花田口



南海高野線 堺東



南海本線
浜寺公園



阪堺電車 浜寺駅前



南海本線 堺

簡単!
便利!

年会費をスマホ決済で!

(詳細は右のQRコードから)⇒



最も簡単な母校の支援方法は「年会費の納入」です!

泉陽高校同窓会

検索

一度アクセスを! 様々な情報に出会えます。
(情報の提供は「koho@senyokai.jp」まで)



令和7年度 泉陽会 総会・懇親会の報告

開催日：令和7年4月6日(日)

(総会と懇親会の詳細については、泉陽会ホームページに掲載します)

当日は、夜半からの雨も日の出と共に奇跡的にやみ、さらに昨年同様、会館横の桜も見ごろという最高のシチュエーションの中、総会が開催されました。

また、コロナ禍を脱して昨年から復活した懇親会にも、多数の方々が参加され、それぞれにかの間のひと時を楽しまれていました。ここに、総会及び懇親会について報告します。

総会

- ・開催時間：10時30分～12時
 - ・開催場所：泉陽会館2階集会室
 - ・出席人数(内訳)
 - ・校長・教頭・常任顧問 3名
 - ・執行委員 20名
 - ・会 員 29名
- 合 計 52名



議案NO.	議 題
第1号議案	令和6年度事業報告
第2号議案	令和6年度収支決算報告
第3号議案	令和6年度会計監査報告
第4号議案	令和7年度事業計画(案)
第5号議案	令和7年度予算(案)
第6号議案	会計年度の変更
第7号議案	泉陽会会則の変更

- 川端 満 組織委員長(27期)が司会進行
 - ・「君が代」「校歌」「旧校歌」を全員で斉唱
ピアノ伴奏：松林 和歩(76期)
 - ・福井隆一郎 会長(18期)の挨拶
 - ・栗山 悟 校長の挨拶
 - ・荒木 順子 教頭(42期)の教職員異動紹介
 - 酒井 正博(23期)を議長に選出
 - 議事録署名人に次の2名を指名
 - ・瀧口 信子(28期)
 - ・大浜誠一郎(29期)
- 審議の結果、第1号～7号議案は可決・承認されました。



福井会長



栗山校長

懇親会

- ・開催場所：南海グリル東店3階
- ・開催時間：12時30分～14時30分
- ・参加人数：52名
- 伊藤裕康(21期)顧問の挨拶のあと、中野敏清(13期)氏の乾杯の音頭で宴会がスタートしました。その後、様々な方々からのメッセージをいただきつつ、最後は、元校長で常任顧問の木村俊一氏の万歳三唱でお開きとなりました。



懇親会参加者



懇親会会場



最年少45期



最年長3期

◎次回の総会開催日については、第6号議案が可決・承認されたため、現在調整中です。決定しだい、泉陽会ホームページでお知らせします。

会長ご挨拶

泉陽会会長 福井隆一郎(昭和41年卒・18期)

泉陽高校の前の「やまたか線」を通ると、多くの運動、文化クラブの好成績のタペストリーが掛かっています。「進取果敢」のスローガンを掲げた校舎正面と相まって、伝統校特有の「文武両道の校風」を周りに漂わせています。

その中で、泉陽高校は、文部科学省の今年度高等学校DX加速化推進事業に採択されて、デジタル人材の育成に取り組んでいます。何度か学級参観をさせていただきましたが、ほとんどの先生の指導方法が、パソコンを利用した学習風景でした。AIの進歩は益々大きくなって、あらゆる業界の発展にAIなしには社会全体が動かない世の中になってきています。学生もDXの勉強へ重点を置くことになるでしょう。

偶々、昨年、私は青森県六ヶ所村にある、日本原燃の原子燃料再処理・中間貯蔵施設工場の見学会に参加しました。下北半島の付け根全体が「日本のエネルギーの中核」という感じで、近くに石油備蓄基地があり、数えきれないほどの巨大風車も林立していました。広大な工場敷地でまず驚いたのが、一にも二にも「安全」、「安全」の確保、そして厳重な検問で、幾度も工場棟毎の見学にチェックが必要でした。数千人の従業員が動いている施設は圧巻でした。ただ最終処分場所がまだ決まらない中、事業は進められているのが現状です。以前、富山県の黒四ダム建設の本を読みましたが、原発一基と大きなダムからの発電量と比べると、あれだけの多くの犠牲者を出した苦労がなんだったのかと思います。原子力発電の是非はともかく、電力需要の増大と時代の方向性に、学校教育はもとより、我々はどう結びついていくのかが問われています。

今、少子化と学区制廃止と私立高校授業料無償化などで、教育環境は大きく変わりました。その中で

も、公立の泉陽高校への入学希望は多く、これも校長先生はじめ先生方のご努力と、多方面による進路指導、行事の充実、年間目標が掲げられ実施され、国公立大学・有名私学への入学も増えています。

また、厳かな入学式、卒業式にも出席させていただきましたが、学生の合唱を聞くと胸が熱くなります。皆様も同じご経験をされた事でしょう。大阪市内からも多くの学生が通学していて、明るく人気のある高校と言われています。これも多くのOB・OGが作り上げた伝統ではないでしょうか。

泉陽会は熱心な代議員、執行委員の皆様はじめ、各委員会が活発な活動をしています。又、東京支部も素晴らしい活動で、支部の皆さんは大変喜ばれています。今後、堺との交流をもっと充実できればと思っています。又、泉陽会2.0として「組織の強化」「情報発信力」「英知のいづみ」「母校への貢献」を掲げて、新しい泉陽会を目指しています。新年早々の二十歳の会、クラブ交流会、公開講座、むすびの会、晶子研究会など多くの活動をしています。あらゆる場面で泉陽会の皆様に喜んでいただけるように、多くの意見が寄せられていて、一つでも多くの事を実現していきたいと思っています。

そして、泉陽会の運営には、皆様からの会費を原資にしています。ネットで簡単に送金できるシステムを用意していますので、よろしく願います。約4万人の卒業生がいる泉陽会を、今後益々発展するため、ご協力をお願い申し上げます。皆様の御健康とご活躍を心よりお祈り申し上げます。



校長ご挨拶 広がる海外交流

泉陽高等学校 校長 栗山 悟

3月末に10名の生徒と一緒にベトナムへ行って参りました。今回は堺市国際課のご協力のもと「ベトナム・スタディツアー」と銘打ち、留学等を扱うISAさんの企画で3月24日から29日までの日程でベトナムを満喫してきました。

堺市は2019年からベトナムの「ダナン市」と友好都市関係にあります。その関係から本校もここ数年、現地の高校や大学とオンラインで交流を続けてきました。大きなスクリーンでお互いを映しながらワワワ話し合うのも楽しくはあるのですが、やはり「実際に現地に足を運び、直に交流を図りたい」との思いから、堺市さんにご支援頂きながら今回の実施に至りました。

「スタディ・ツアー」とのタイトル通り、個人旅行では訪れることのない場所での「学び」に、参加生徒は大満足でした。ハノイの日本企業を見学し、ダナンでは行政センターの方から英語でレクチャーを受け、そして日本領事館を訪問して領事の方から外交の実際についても伺うことができました。メインイベントの現地校「Hoan Hoa Tham高校」訪問は朝早くから夕方まで丸一日の活動となりましたが、お互いの文化紹介などに止まらず、一緒に現地の人気レストランに出かけてランチを楽しみ、おやつ代わりに生春巻き作りを体験し、高らかに校歌を歌い、バレーボールやバスケットボールで真剣勝負(?)と、日越どちらの生徒も笑顔が絶えない一日となりました。正直なところ、「ベトナムの生徒さんが泉陽に来られて、同じようなおもてなしができるか…?」と考えてしまうほどの



令和7年3月27日ベトナム・ダナン市ホアン・ホア・ティム高校にて
歓待ぶりでした。

今回、校長の私がツアーに同行したのは(ヒマだからではなく)、昨年末の吉村知事の「国際的な感覚を学ぶためにも、『1府立高校1海外姉妹校』にしたい」との発言が背景にありました。府立高校全校でそれぞれ海外の高校と姉妹校提携を目指す方針が示され、その必要経費も予算に盛り込まれています。現時点では、全日制の府立高148校のうち、海外に姉妹校があるのは49校とのことですが、本校は姉妹校を持たず今後の課題となっています。もちろん英語を公用語とする国の学校と姉妹校提携を結ぶことも望まれますが、近隣のアジア諸国(しかも友好都市)にも交流校を持つことは大変意義深いと考えています。実際に本校がどの学校と姉妹校提携を結ぶのかは全くの白紙状態ですが、いずれにしても国際交流の広がりを大いに期待しているところです。泉陽会の皆様方には、国内外で躍動する生徒たちの姿を、また本紙面や学校HPなどでお届けできればと思っています。今後も変わらぬご支援を賜りますよう、お願い申し上げます。

令和6年度事業報告

1. 総務委員会

計画に基づいて、在校生支援活動、項目1の会議録作成、資料作成、会館の備品等の管理などを行いました。

- ◎会議(執行委員会、代議員会)の実施状況
- 執行委員会

	年月日	内容
第1回	令和6年5月18日	委員会報告(総会報告他)
第2回	令和6年7月20日	委員会報告
第3回	令和6年9月7日	委員会報告
第4回	令和6年10月19日	委員会報告
第5回	令和6年11月9日	委員会報告 令和7年度予算案について
第6回	令和6年12月7日	委員会報告(会議後懇親会開催)
第7回	令和7年2月15日	委員会報告 令和6年度決算報告 令和7年度事業計画案について
第8回	令和7年3月22日	委員会報告 令和6年度事業報告

●代議員会

第1回	令和6年7月20日	委員会報告
第2回	令和6年12月7日	委員会報告 令和7年度事業計画案について
第3回	令和7年2月15日	委員会報告、令和6年度決算報告 令和7年度事業計画案について

◎会館使用状況

泉陽会館使用状況(令和6年4月1日～令和7年3月31日)

主なものを記載

- ・執行委員会(代議員会含む) 8回
- ・床清掃 7回
- ・同窓会 89回
- ・学校

(内訳 191回(同窓会関係:むすびの会、コール・いづみ、コール・ドラフト、混声合唱団「ひだまり」 他の学校関係:ダンス部(108回)、校長会、PTA実行委員会 他)

◎名簿関係

- ・76期の卒業生(314名)は学校側から資料を頂き、株式会社サラトに資料を送り、データを入力してもらいました。
- ・株式会社サラトにホームページ等にて住所変更を連絡しました。
- ・逝去の方に関しては電話、FAX等で同窓会館に連絡があるので、担当者が確認し、株式会社サラトに連絡しました。(住所変更等 約1,000件)
- ・会報「いづみ」の発行後、代議員の方に住所不明者を連絡し、新住所の調査を依頼しました。
- ・宛名シール(学年同窓会等)の作成依頼、発送業務については株式会社サラトに依頼しました。(4件)

	令和6年3月末現在	令和7年3月末現在
総会員数	39,327名	39,641名
新会員数	358名	314名
物故者数	4,639名	7,006名
いづみ発送部数	21,888名	21,888名
いづみ戻り部数	371名	384名

*物故者が昨年より大幅に増えたのは、明らかに逝去されているのに、データの不備で住所不明になっていたのを、物故者に訂正したためです。

2. 組織委員会

◎令和6年度 泉陽会・総会・懇親会

天候に恵まれ、会館の玄関の桜も見ごろと総会を祝福しているように思えました。

例年通り、コロナ対策を講じ、総会が開催されました。

本年は「懇親会」の開催を決定、「役員」「代議員」「会員」の皆さんの協力で無事開催ができました。

今後ともご協力よろしく願います。

総会

- ・開催日時:令和6年4月7日(日) 午前10時30分～12時
- ・開催場所:泉陽会館2階集会室

・出席人数:54名

(内訳)・校長	3名
・教頭	3名
・事務長	3名
・役員	17名
・会員	34名
計	54名

○川端 満 組織委員長(昭和50年卒・27期)が司会進行

- ・君が代 校歌 旧校歌を全員で斉唱
- ・ピアノ:山本安祈子 様(昭和43年卒20期)
- ・福井隆一郎 会長(昭和41年卒・18期)の挨拶
- ・栗山 悟 学校長の挨拶
- ・荒木順子 教頭(平成2年卒・42期)による 新旧職員異動紹介
- ・議長選出 小西正明(昭和42年卒19期)
- ・議事録署名人・瀧口信子(昭和51年卒28期) 大浜誠一郎(昭和52年卒29期)の2名を選出

○下記第1号議案～7号議案は可決・承認されました。

議案NO.	議 題
第1号議案	令和5年度事業報告
第2号議案	令和5年度収支決算報告
第3号議案	令和5年度会計監査報告
第4号議案	令和6年度事業計画(案)
第5号議案	令和6年度予算(案)
第6号議案	財務書類の保管管理 基準報告
第7号議案	能登半島地震災害 義援金報告

懇親会

- ・開催日時:令和6年4月7日(日) 12時30分～15時30分
- ・開催場所:南海グリル東店3階
- ・参加人数:91名
- 混声合唱団「陽(ひかり)」の部員17名の有志とピアノ演奏山本安祈子(昭和43年卒・20期)によるコーラスから懇親会がスタート (「陽」は令和6年3月10日をもって解散しました。)
- ・曲目:曲がりかど、春のたより、愛燦燦、お祭りマンボ
- 小川泰造氏(昭和26年卒・3期)の乾杯の音頭で宴会がスタート
- ・メッセージの披露 福井会長、栗山校長、荒木教頭、伊藤前会長、天野東京支部長他
- ・途中で末原論宣(昭和51年卒・28期)によるフルート演奏がありました。
- ・曲目:グルック作曲 精霊の踊り、ボルディーニ作曲 人形の踊り

○泉陽高校「生徒歌」を全員で合唱して閉会

◎「公開講座」(1)

テーマ「大阪湾の海の生物」

- 開催日時:令和6年6月8日(土)15時～16時30分
- 開催場所:泉陽会館2階 集会室
- 講 師:鍋島靖信氏(昭和47年卒・24期生)
- 参加人数:45名

鍋島靖信氏のプロフィール

- 1972年 大阪府立泉陽高等学校卒業
- 1973年 三重大学水産学部入学
- 2016年 大阪海区漁業調整委員会専門委員 大阪湾見守りネット運営委員 大阪市立自然史博物館友の会会長 ・外来研究員《現職》

講演の内容(詳細はホームページに掲載)

- ◎温暖化による大阪湾・瀬戸内海の水産物の変化
- ◎淀川のクジラ『淀ちゃん』の軌跡:壮絶な漂流と悲劇的な最期
- ◎岬町に8年定住するハンドウイルカ親子におきた重大事件(読売新聞令和5年12月6日掲載)
- ◎イカナゴ激減!温暖化が大阪湾の食卓を直撃 (上記のお話の詳細はホームページに掲載されています)

◎「公開講座」(2)

テーマ「相続・遺言の基礎知識と
相続登記申請義務化について」
—あなたと家族の未来をつなぐ相続・遺言—

- 開催日時: 令和6年10月19日(土) 午後3時~4時30分
- 開催場所: 泉陽会館2階 集会室
- 講師: 司法書士 徳田要市(昭和53年卒・30期生)
- 参加人数: 19名

徳田要市氏のプロフィール

1959年 大阪市生まれ
1975年 高石市取石中学校卒業
1978年 大阪府立泉陽高等学校卒業
1983年 関西大学法学部法律学科卒業
1983年 大阪市内の司法書士事務所入所
1994年 堺市で独立開業
2021年 大阪司法書士副会長

講演の内容 (詳細はホームページに掲載)

- ・相続・遺言の基礎知識
 - ・相続登記の申請義務化について
- ◎第2回文化部・運動部「クラブ交流会」開催
開催日: 令和6年11月9日(土)
(詳細については、泉陽会ホームページをご覧ください)

第1部

- 開催時間: 14:30~16:30
- 開催場所: 泉陽会館2階 集会室
- 参加者: 来賓9名、卒業生27名、役員12名
- 参加クラブ: 運動部12、文化部3
- 司会進行: 川端 満(27期)
組織委員長(サッカー部OB会所属)

第2部

- 開催時間: 17:00~19:30
 - 開催場所: 楓林閣堺店(2階)
 - 参加者: 卒業生25名、役員11名
- ◎「二十歳の会」(二十歳を迎える卒業生)の支援
●開催日時: 令和7年1月5日(木)17時受付、8時閉宴
●開催場所: ホテル アゴーラ リージェンシー大阪堺
●対象卒年: 令和5年卒・75期生
●参加者数: 卒業生254名(総卒業生386名)及び教職員7名
例年通り、泉陽会から通信費等の若干の支援をしました。
- ◎「泉陽会2.0」活動状況
●「泉陽会2.0」の詳細はホームページに掲載しています。
●現在までに2名の人材登録がありました。
引き続き募集していますので、自薦・他薦にてご応募ください。

3. 広報委員会

- ◎「会報いづみ」の発行
「ワーキングチーム」を設置し、紙及び印刷費の高騰などの社会的変化における紙発行継続の是非、発行費用の抑制を図るための広告掲載について検討した。
- ◎ホームページの運用
各方面からの情報掲載の迅速化に努めるとともに、東京支部からの情報の受け皿として、新たに「東京泉陽会」欄を設置した。
- ◎校内行事への参加
泉陽会についての広報の一環として、在校生への浸透を図るため、来年度からの「体育祭」及び「文化祭」への参加を決定した。

4. 財務委員会

- 令和6年度 入出金の管理
- 年会費のコンビニ払い継続

5. むすびの会委員会

- 令和6年12月末会員数
男性13名、女性10名、計23名
- 平成6年発足より令和6年までの成立は130組
- 委員会例会 9回
- 会員閲覧 第2、第4土曜日(変更の場合あり)
14時~16時 予約制で実施
- 見合いの立ち合い 10件
- 文化祭での広報活動
- 他校委員会との会議 2回
- 他校(斐分会、三国ヶ丘、岸和田)との会員合同懇親会を実施

6. 東京支部

- ・3月23日(土)「第40回 江戸・東京さんぽ」
(目黒川花見クルーズ)に38名参加
- ・3月30日(土) 令和6年度 泉陽会東京支部例会等書
類発送会に有志10名参加
- ・6月8日(土) 令和6年度 泉陽会東京支部例会
ライブハウスレストラン BLUEMOODで38名参加
- ・10月12日(土)「第41回 江戸・東京さんぽ」
(向島百花園)に20名参加

7. 同好会

7.1 晶子研究会

晶子フォーラム2024・国際啄木学会2024年堺大会(主催: 与謝野晶子倶楽部、国際啄木学会 共催: さかい利晶の杜)

タイトル: 120年のいま、晶子と啄木に学ぶこと

- 開催日時: 令和6年5月25日(土)
13:00~16:40 ※開場: 13:00

●開催会場: フェニーチェ堺 小ホール

◎第I部 13:20~

朗読と合唱

「晶子と啄木の詩歌をうたう」

合唱(出演: 泉陽高校音楽部、ヴォーチェ・コン・カローレ、Chor.Draft、コールいづみ有志他)

※ウクライナ語の朗読の後に「君死にたまふことなかれ」の大合唱

※「合唱」「詩の朗読」に泉陽会より、多数の方が出演されています。

※「晶子フォーラム」の内容がYouTubeにupされています。
泉陽会のホームページにも掲載

◎第II部 講演とシンポジウム 14:30~16:40

14:30~15:00 太田登: 基調講演「晶子と啄木におけるトルストイ体験」

15:05~16:35 シンポジウム「時代を超える晶子と啄木」
発表者: 池田功、松平盟子、田口道昭

司会: たつみ都志

◎第III部 交流会

日時: 令和6年5月25日(土) 17:30~19:30

会場: ホテルサンプラザ堺アネックス

定員: 70名

◎【研究会】

日時: 令和6年5月26日(日) 9:00~11:50

会場: さかい利晶の杜1階茶室

9:00~10:00 企画展(自由観覧)

「堺から世界に響け! 君死にたまふことなかれ」

10:10~11:50 研究発表と討論

古澤夕起子、阿部愛美、田山泰三: 晶子の評論について他

【ギャラリー展「アートで彩る晶子の姿」】

◎会期: 令和6年5月18日(土)~6月16日(日)の30日間

ただし、華道は5月18日(土)~19日(日)の2日間

会場: さかい利晶の杜2階企画展示室半室、1階茶室 ほか
内容: 晶子倶楽部会員によるギャラリー展

ここ数年、「晶子倶楽部」への取組みが停滞しているため、本年度より新たに名簿の作成にとりかかり、引き続き会員への加入をよびかけております。

泉陽会員及びその知人など、多くの方々の参加がありました。

7.2 ゴルフ同好会

令和6年度 ゴルフ同好会 活動報告(開催場所: 天野山c.c.)

定例会合	開催日時	優勝者	卒年	参加者数
第150回	令和6年3月19日(火)	岩瀬 正	S37	20名
第151回	令和6年5月14日(火)	楠本誠一	S48	18名
第152回	令和6年9月10日(火)	打越 勝	S44	16名
第153回	令和6年11月26日(火)	露口六彦	S38	17名

令和7年度事業計画

1. 総務委員会

令和7年度の計画

令和7年度日程を作成、これに基づき活動します。

- ◎事業継続(在校生支援活動)
- ◎会議 執行委員会 年8回(4、6、8、1月は休み)
代議員会 年3回 詳細は別途資料に記載
(会議開催の前日の金曜日の午前中に清掃業者による床清掃7回(3月は休止))
- ◎慶弔規程による電報等の発信
- ◎卒業証書入れ(A4両開きファイル)の贈呈
- ◎各委員会の会議記録、資料作成、備品等の管理・保管
- ◎会館運営管理
- ◎名簿管理
業務委託の株式会社サラトとデータを共有し、会員からの情報等によりデータを最新に保持します。
77期の卒業生(314名)の資料を学校からいただき、株式会社サラトに送付します。
ホームページを使った方法で住所変更を行います。
会報「いづみ」を発行後の住所不明者は代議員に調査依頼を行います。
宛名シール(学年同窓会等)の作成、発送業務については株式会社サラトに依頼します。

2. 組織委員会

- ◎令和7年度の総会開催について
「懇親会」は総会後に開催予定です。
- ◎「公開講座」の年2回実施
 - ・第1回目
開催日時：令和7年6月7日(土) 15時～16時30分
開催場所：泉陽会館2階 集会室
内 容：未定(開催時はホームページで案内予定)
 - ・第2回目
第一回社会貢献事業
開催日時：令和7年10月18日(土) 15時～16時30分
開催場所：泉陽会館2階 集会室
内 容：第一部「始めましょう! 予防救急」
～日常生活で痛い目に遭わないために～
第二部「AEDを使った心肺蘇生法」
～心臓が止まってしまった時の処置～
講 師：大浜誠一郎氏(昭和52年卒29期生)
- ◎第3回「クラブ交流会」の開催
 - ・開催予定(令和7年11月8日)、前回開催時の名簿に基づき案内予定
- ◎「二十歳の会」の支援
 - ・対象学年：令和6年卒76期生
 - ・開催日時：令和8年1月4日(日)
 - ・開催場所：ホテル アゴーラ リージェンシー大阪堺
- ◎「泉陽会2.0」活動
 - ・「泉陽会2.0」周知活動の継続
 - ・人材バンク登録者の講演企画等の推進

3. 広報委員会

- ◎会報「いづみ」の発行
広告掲載についての検討を継続します。
- ◎ホームページ
多方面からの情報を数多く掲載するとともに、検索したい情報にアクセスしやすい構成に変更していきます。
- ◎校内行事への参加
高校側と調整しながら「体育祭」と「文化祭」に参加します。

4. 財務委員会

- ・令和7年会計年度における入手金の管理
- ・泉陽会活動のサポート用に寄附システムを構築

5. むすびの会委員会

- ・委員会例会
- ・会員の閲覧
第2、第4土曜日(変更の場合あり)
14時～16時予約制
- ・見合いの立ち合い
- ・他校委員会との交流会

6. 東京支部

- ◎令和7年度の活動方針
 - ・6月7日(土) 令和7年度 泉陽会東京支部例会を開催
上記に先立ち、書類発送会を有志にて開催
3月末～4月上旬予定
 - ・第42回 江戸・東京さんぼ 花見会開催
 - ・第43回 江戸・東京さんぼ 開催(目的地未定)
10月～11月予定
- 以上、大阪本部の皆さんのお力添えをいただき、参加者の増強を目指し、全ての会を盛り上げ、更なる会員同士の親睦を深めることを活動方針といたします。
東京支部長 天野純一氏(昭和53年卒30期)

7. 同好会

7.1 晶子研究会

晶子フォーラム2025のお知らせ

- (主催：与謝野晶子倶楽部 共催：さかい利晶の杜)
【晶子フォーラム2025：「日本古典全集刊行100年 与謝野晶子・紫式部・和泉式部」】
日 時：令和7年5月31日(土) 14:00～16:15
※開場：13:30

会 場：堺市総合福祉会館 大ホール
参加費：一般1,000円、与謝野晶子倶楽部会員500円、学生無料

内 容：

- 第Ⅰ部 合唱 14:00～14:30
(出演：泉陽高校音楽部、ヴォーチェ・コン・カローレ、Chor.Draft、コールいづみ)
第Ⅱ部 講演 14:45～16:15
講 師：京都先端科学大学 国際学術研究院 山本淳子教授
テーマ：未 定

なお、同日、総会及び交流会も開催予定

【ギャラリー展「アートで彩る晶子の姿」】

会 期：絵画・書道・文芸
令和8年1月10日(土)～1月12日(月)の3日間
ただし、華道は令和7年5月24日(土)～25日(日)の2日間

会 場：さかい利晶の杜 2階企画展示室半室、1階茶室ほか

内 容：晶子倶楽部会員によるギャラリー展
観覧料：一般300円、高校生200円、中学生以下無料
(専用ハガキをお持ちの方は無料)

※現時点では日程・内容とも未確定です。確定時は泉陽会ホームページへ掲載いたします。

7.2 ゴルフ同好会(令和7年度 ゴルフ同好会 予定)

定例会合	開催予定日	開催場所
第154回	令和7年3月18日(火)	天野山c.c.
第155回	令和7年5月16日(金)	天野山c.c.
第156回	令和7年10月7日(火)	天野山c.c.
第157回	令和7年12月2日(火)	天野山c.c.

◎問い合わせは、泉陽ゴルフ幹事 竹山三郎 まで
(昭和48年卒・25期)

◎連絡先：090-3358-0392

令和6年度収支決算(抜粋)(令和6年1月1日~12月31日)(単位:円)		
	予 算	決 算
収入の部	7,386,000	7,385,037
前年度繰越金	9,061,385	9,061,385
収入の部 合計	16,447,385	16,446,422
支出の部	8,100,000	7,304,665
次年度繰越金		9,141,757
支出の部 合計	16,447,385	16,446,422

◎詳細については表紙のQRコード(赤枠)で確認できます。

令和6年度末 財産目録(抜粋)(令和6年12月31日現在)(単位:円)	
通常会計	9,141,757
修繕積立金	15,134,671
記念事業積立金	7,178,128

令和7年度予算(抜粋)(令和7年1月1日~12月31日)(単位:円)		
	令和7年度	令和6年度(参考)
収入の部	16,328,757	16,447,385
支出の部	16,328,757	16,447,385
(うち予備費)	8,228,757	8,347,385

◎第2回文化部・運動部「クラブ交流会」開催の報告

開催日: 令和6年11月9日(土)
(詳細については、泉陽会ホームページをご覧ください)

第1部

- 開催時間: 14:30~16:30
- 開催場所: 泉陽会館2階 集会室
- 参加者: 来賓9名、卒業生27名、役員12名
- クラブ内訳: 運動部12、文化部3
- 司会進行: 川端 満(27期)組織委員長
サッカー部OB会所属

第2部(懇親会)

- 開催時間: 17:00~19:30
- 開催場所: 楓林閣堺店(2階)
- 参加者: 卒業生24名、役員11名



公開講座

◎「公開講座」(1)

テーマ「大阪湾の海の生物」

- 開催日時: 令和6年6月8日(土) 15:00~16:30
- 開催場所: 泉陽会館2階 集会室
- 講師: 鍋島靖信氏(昭和47年卒・24期生)
(プロフィールについては令和6年度事業報告P4を参照)
- 参加人数: 45名

講演の内容(詳細はホームページに掲載)

- ◎温暖化による大阪湾・瀬戸内海の水産物の変化
- ◎淀川のクジラ『淀ちゃん』の軌跡:
壮絶な漂流と悲劇的な最期
- ◎岬町に8年定住するハンドウイルカ親子におきた重大事件(読売新聞令和5年12月6日掲載)
- ◎イカナゴ激減! 温暖化が大阪湾の食卓を直撃



◎「公開講座」(2)

テーマ「相続・遺言の基礎知識と
相続登記申請義務化について」

—あなたと家族の未来をつなぐ相続・遺言—

- 開催日時: 令和6年10月19日(土) 15:00~16:30
- 開催場所: 泉陽会館2階 集会室
- 講師: 司法書士 徳田要市
(昭和53年卒・30期生)
(プロフィールについては令和6年度事業報告P5を参照)
- 参加人数: 19名

講演の内容(詳細はホームページに掲載)

- 相続・遺言の基礎知識
「相続ってなに?」「私が死んだら私の財産はどうなるの?」「遺言書は書いたほうがいいの?どうやって書くの?」等々の相続や遺言にまつわる様々な疑問をわかりやすく解説していただきました。
- 相続登記の申請義務化について
令和6年4月1日から、相続登記の申請義務化が始まりました。義務化の背景、対象となる不動産や人、罰則の有無、具体的な手続きなどを詳しく説明していただきました。



寄稿 ～戦争と泉陽と私～

和田武子(昭和26年卒 3期生)

①現在の私

私は昭和26年卒の三期生です。与謝野晶子さんの府立堺女の最後の後輩です。現在は日本画の絵と恥をかいで過ごしていますが、卒業生の同窓会委員では最高齢になってしまいました。毎月の委員会にはできるだけ出席をしていますが、暑い日や寒い時の歩行は泉陽高校の運動場の柵辺りがこの年ではガンバリ所で、12～13歳の若い頃を思い出しています。

②学校生活の思い出

あの頃は硬い土の運動場を、丁度その辺りで防空壕掘りをしていました。また、体操の時間は「なぎなた」の実習で、冬の寒い日でも裸足で長い棒をふり回し、構え方が悪いと言ってはなぎなたを叩き落とされて素足の指に当たり、跳び上がる程の痛さを辛抱する時間でした。

また、廊下で上級生と正面で遭えば、一度立ち止まってお辞儀をしたり、廊下を走る事は全くありませんでした。そして、終戦後はその掘った防空壕を、今度は校舎の焼けあとの瓦礫を集めて埋める作業です。その夏は残暑が厳しく、「いつ広い運動場がきれいになるのかなあ」と思いながら小さな手で瓦礫運びをしたものでした。

授業といえば、疎開していた生徒たちも堺へ帰って来て再開されたものの、体育館と三階建の焼けた鉄筋の教室だけで、その体育館もいくつか仕切られ、つい立て越しに英語や国語の先生方の声が混じっていました。机は風呂の腰かけ位の大きさと、床に座り込んでの授業でした。

③違う場所での学校生活

その後、奇特的な会社(大阪アルミ)の社員宿舎を改造し、大阪府立堺高等女学校として進み始めました。場所は阪和線の上野芝駅と鳳駅の間で、下田という島所です。そこへは上野芝や鳳、阪堺線の石津から歩いての遠い通学でした。

教室の中には、押し入れ等を取り除いた後の柱が二本ほど中央にあり、やっと机を並べて勉強したものです。昼食時は、なんと粉のパン(注:1)や、さつま芋の人たちが多く、白米のお弁当の人は気を遣って肘で隠して食べていました。運動場も狭いながら朝礼のできる広さがあり、私は先輩たちに混じって、戦後に国が始めたスポーツのソフトボールをしていました。

そして、その下田の女学校に、大学の学徒動員で陸軍に入り、終戦で戻ってきた長兄(和田正琳)が、歴史の教師として入ってきました。

④素敵な贈り物

やがて時代も落ち着き、二年生の時に下田の学校へ、アメリカのハワイ世の方たちが「ラ・ラ・物資」(注:2)として、被災者の私や焼け出された女学生たちに沢山の洋服を送ってくれました。私はベージュ色のループヤーンの上衣を頂きました。何とハワイにこんなウールの上衣があるのか？そして、きれいな縫製とダーツでセミ・フィットしたシルエットの美しい事！胸に血液型の書いた夏の体操服とモンペ姿で逃げた、あの情けない姿の私には荘然と夢いっばいで、何で服飾文化の進んでいる国アメリカと戦争をしたのかと、今も思います。

⑤初めての男女共学

それから、時代も変わり男女共学が始まりました。高野線を境にして東と西に生徒たちは分かれ、「堺中学」「府立堺高女」「市立高女」の三校が二つに分かれて、東は三国ヶ丘高校へ西は泉

陽高校として分けられました。

泉陽には、堺中心部の殿馬場や熊野(ゆや)、阪堺線通学の浜寺、諏訪ノ森、羽衣からの生徒が多く、中でも希望者の少しは三国ヶ丘へ行きましたが、運動部の生徒は泉陽に残されました。初めての男女共学で最初は馴染めず、運動時間のフォークダンスの時の男子生徒は可愛らしく感じました。

元女学校なので男子用トイレも職員用のみで少なく、一部の人は運動場を横切り、気の毒にも現在の高速下にあった土井川の墓地のところまで走って行きました。また、体操の時間では男子は野球を、女子は運動場を回って走らされていました。三年間の泉陽高校の思い出はややこしいながら、戦時中のことを思えば授業も何でも楽しさで一杯でした。

⑥戦中戦後の体験

戦時中は一切の英単語も話せず、来る日も来る日も警戒警報、空襲警報で壕の中へ入ったり出たりでした。

ある時、家の中の壕では焼け死ぬと言われ、町内会長の父を残し、夏布団を母と二人で前と後ろで獅子舞のようにかぶり、暗闇の中を大勢の大人や子供たちが泣き叫びながら小栗街道を南へと石津川の橋の下へ逃げました。あの悲しい足音は今でも覚えています。

今思えば、堺の13号線は国を支える日本の工業地帯で、戦車を作っていた「久保田鉄工」や「ダイキン工業」等が並んでいました。上空では、B29が雨のように親子焼夷弾を落とし、戦闘機は低空飛行で終戦の綺麗な色の色紙をばらまき、鳳方面では機銃掃射に遭う人もいました。堺市内は焼け野原で、ある夏の日に女学校まで歩いて行き着いた時には、私の運動靴の底は溶けていました。また、堺東の駅前には死体が積まれて臭気が漂っていました。

⑦記憶の伝承への想い

最後になりますが、私の体験が掲載された書籍として、「女たちの太平洋戦争①～戦時下、15歳前後だった少女たちがいまそ語る痛恨の記憶……～」(朝日新聞社編)、「孫たちへの証言～文字化することで体験や伝承は生き続ける～」(新風書房)などがあり、後者は読売新聞に掲載され、天満の文化ホールで朗読発表もしました。

今、92歳を過ぎて泉陽の運動場のフェンスの横を通る時に、サッカー選手の後輩たちがこの白いゴールヘシュートを決める平和な姿を一。私は見たい。

注:1 当時の食糧難の中、主食の代用として配給されていたトウモロコシの粉で作ったパン。

注:2 第二次世界大戦後の日本に対して、アメリカ合衆国の民間団体「ララ」によって送られた救援物資。

(編集者より)

ある日、和田さんが戦時下の母校について私に語ってくれました。次々と繰り出される生々しい体験談に、「是非、泉陽会の皆さんに知っていただかなければ！」という強い気持ちが芽生えました。そこで、和田さんに寄稿をお願いしたところ、快く引き受けていただき、今回の掲載となりました。

◎和田武子さんのプロフィールは、表紙の「QRコード(赤枠)」で検索できます。



アトリエにて



アゴララージェンシー大阪堺4Fで展示の「老いたピエロ」



泉陽高校女子生徒の夏服デザイン



ロータリークラブクリスマスパーティーにて

第154回 泉陽オープンゴルフ開催のご報告

世話人：竹山三郎(昭和48年卒25期)

拝啓 早春の候 お健やかに過ごしのことと存じます。昨夜の雨はすっかりやみ、暖やかな春の陽ざしのもとゴルフを楽しむことができました。次回は5月16日です。皆さんの参加をお待ちしております。



令和7年3月18日開催 天野山カントリークラブ



順位	競技者名	卒年	NET
優勝	吉山 論	S60	76.6
準優勝	中井泰三	S40	77.0
3位	楠本誠一	S48	77.4
4位	伊藤裕康	S44	78.0
5位	井関洋一	S48	78.2
6位	打越 勝	S44	78.8
7位	露口六彦	S38	79.6
8位	竹山三郎	S48	83.6
9位	田中康夫	S44	87.0
10位	楠田行利	S50	89.2
11位	築地睦郎	S50	97.0
12位	光田尚代	S62	129.0

第155回 泉陽会ゴルフコンペ開催のご案内

開催日時；令和7年5月16日(火)

開催場所；天野山C.C.

新規参加者大募集！

幹事；竹山三郎(090-3358-0392)まで



——泉陽会女性のみなさんへお願い——

辻野日出子(昭和36年卒)

今回は都合で参加できませんでしたが、私が「泉陽会」のゴルフに参加させて頂いたのは2010年の9月からだと思います。

当時は会員が多く、毎回50名近くで開催していました。

現在女性はとても少なく、1~2人です。「ゴルフは楽しい」「18ホールまわるうちにプレーをしているみなさんと和気あいあいとなり、友達になれます。一度参加してみてください。

混声合唱団『コールいづみ』団員募集

合唱の好きな人、男性、女性、どなたでもどうぞ！経験も年齢も関係ありません。石若雅弥先生指導のもと、毎月二回練習をしています。

堺が生んだ情熱的歌手「与謝野晶子」や、近代詩の父と呼ばれる「谷川俊太郎」、また大正末期から昭和初期に活躍した童謡詩人「金子みすず」等の詩に先生自ら曲を付けた作品から、日本民謡やポップス等の編曲作品まで、幅広く楽しく学んでいます。

『うたの音2025』

石若雅也先生指導団によるジョイントコンサート
8月23日(土) サンスクエア堺 14:00開演

私ども『コールいづみ』は、昭和のデュエット名曲を先生が編曲された作品を合唱いたします。昭和世代の方々にとっても懐かしい演目かと思います。会場にお運び頂けると嬉しく思います。

指導者・ピアノ 石若雅弥先生

指揮者 坂井威文先生

練習日時 毎月第2・4月曜日(13:30~15:30)

会場 泉陽高校同窓会館2階

団費 毎月2,500円

演奏会や行事参加の場合は随時会費を徴収します。

(石若雅弥先生プロフィール)

泉陽高校52期生、京都市立芸術大学作曲専攻卒業
合唱作品を中心に出版楽譜は約150冊で、どこか懐かしさを感じさせるその作風は、幅広い層から好評を得ている。劇音楽や学歌、市歌なども手掛ける。作曲の傍ら、関西を中心に15団体以上の合唱団や弦楽合奏団の常任指揮者・音楽監督などを務め、2023年にはニューヨーク・カーネギーホールにて自作曲の指揮をし、絶賛を博す。全国各地で客演での演奏、講習会やコンクール審査員なども精力的に行うほか、多数の合唱団のピアニストや技術アドバイザーも担当している。

問い合わせ Chor.Idumi@gmail.com

金山裕子(19期生) 090-3037-5252

廣田恭子(25期生) 090-6066-7078

石井淳子(24期生) 090-6554-3100

発表会の様子はこちらから→



東京支部 活動報告2024

東京支部長 天野純一(昭和53年卒 30期)

会員の皆様におかれましては、益々ご健勝のこととお慶び申し上げます。

2024年度の活動報告をさせていただきます。

◎6月8日(土) 東京支部同窓会を開催(写真①)

正午より、ライブハウスレストラン「BLUE MOOD」にて東京支部同窓会を開催いたしました。

本年は、初参加者3名、大阪からの参加者2名を含めた昭和19年卒から平成5年卒までの同窓生38名が出席。私の挨拶に続いて昭和27年卒4期の河合清和氏のご発声で、4月に急逝された三原宏巳氏(河合氏同期)の御霊に黙祷・献杯をさせていただきました。

三原氏は堺から東京支部の本同窓会や年2回開催しております「江戸・東京さんぽ」によく参加され、2007年には東京支部の旗を作製して寄贈されるなど、東京支部に多大な支援をしていただきました。それもこれも三原氏と河合氏は幼稚園から高校までの同級生であるが故。河合氏はおふたりの思い出話をご披露され、竹馬の友を心より偲んでおられました。

その後食事・歓談に移り、各テーブルでは大阪弁が飛びかうなか、大阪本部よりご参加いただいた広報委員の大浜誠一郎氏(昭和52年卒29期)が登壇され、昔の野球部の話等でおおいに盛り上がりました。

続いてメインイベントに移り、神戸在住で昭和55年卒32期の若谷佳美さんによる朗読を楽しませていただきました。若谷さんはホテル・レストラン・寺院・古民家など多くの会場で朗読会を開催、また式典・コンサート等の司会、読み聞かせボランティアの指導・育成等にもお励みになっている方で、この日は、夏目漱石作「夢十夜」・志賀直哉作「転生」を語ってくれました。終了後はアンコールの拍手がおき、我らが先輩・与謝野晶子の「君死に給ふことなかれ」を朗読していただき、歓喜の渦が巻き起こった次第です。

次に、ゲストとしてお招きした脚本家・今井雅子さん(三国ヶ丘高校卒)と講談家で女優の旭堂南明さん(昭和43年卒20期の旭堂南陵さんの愛弟子)にお言葉をちょうだいし、初参加ならびに久しぶりの参加となった3名の方々にご挨拶をちょうだいいたしました。

最後は、音楽部・フォークソング部出身者がリードして、女学校校歌・高校校歌・生徒歌をみなで合唱しお開きとなりました。



(写真①)

◎第40回江戸・東京さんぽを開催(写真②)

3月23日(土)、隠された名所「目黒川」の桜を船上から眺める花見クルーズを実施しました。乳幼児2名をふくむ38名が天王洲の船着き場に集合。

あいにくの小雨、寒の戻りで開花が足踏み状態の中、午前11時に出発。船は、目黒川「品川くじらの水門」を



(写真②)

くぐり遡上し、荏原神社を過ぎ20以上の橋を抜け、山手線や新幹線の高架をくぐり、眼前に電車の迫力を感じることができました。満開の花見とはならなかったものの、地上からとは違う景色にみな大満足でした。棧橋に戻った一行は、待合レストラン「キャプテン・ワーク」にてランチコースを食し飲み、午後3時に散会となりました。

◎第41回江戸・東京さんぽを開催(写真③)

10月20日、久方ぶりの秋晴れの下、向島百花園を散策いたしました。

午前10時30分に東武スカイツリーライン東向島駅に20名が参集。昭和36年卒から平成26年卒までの20名、関西からも3名が参加。

向島百花園は文化2(1805)年に開園、四季を通じて様々な催しが開かれており、海外からも多くの旅行者が訪れています。

庭園の特徴は、芭蕉の句碑をはじめ20数基の句碑があり、江戸の文人趣味豊かに作庭され、早春の梅・水仙・福寿草から始まり、四季それぞれの野趣に満ちた庭園です。中でも全長30メートルからの「菖のトンネル」は有名で、万葉集にも詠まれ、古代から愛され続けた花々に囲まれ、ボランティア・ガイドの案内で楽しいひとときを過ごすことができました。

昼食は百花園から20分ほどの江戸蕎麦店で、懐石コースをいただきました。座敷からは、スカイツリーが眺められ、各テーブルでは楽しい会話が続きました。

食後は、向島に点在している団子屋・餅屋をまわり、言問団子・桜餅・黍団子・草餅などをお土産に買って帰りました。



(写真③)

(編集者より)

相変わらず、活発な活動を続けていらっしゃる様子で何よりです。今後の益々の発展を願っています。

追悼 鈴木良之さん

令和7年4月10日(日)、前東京支部長の鈴木良之さん(昭和36年卒13期)が82歳でご逝去されました。感謝と追悼の意を込めて、これまでの足跡をここにご紹介します。

鈴木良之さんは、昭和18(1943)年に堺市で生まれ、殿馬場中学を経て泉陽高校で3年間を過ごしました。高校時代は帰宅部でしたが、進学した同志社大学ではESSに所属していました。

その後、大成建設に入社して社会人となり、結婚後はお子息とご息女にも恵まれ、とても家族思いの方でもありました。

その一方で、昼夜を問わず一家の大黒柱として働き続け、定年退職後は、仲間の輪をさらに広げるとともに、やっとできた時間を旅行やカラオケ等で存分に楽しんでいました。

また、泉陽会東京支部の支部長としても、長年にわたり支部の活性化に尽力し、若い会員の方々にも参加してもらおうと始めた「江戸・東京さんぽ」は、毎年春と秋に開催されており、今では42回を数えています。

さらに、堺市が設置した、首都圏在住で堺にゆかりのある方や関心がある方を対象としたネットワーク「東京・さかい交流会」では、「堺の魅力配達人」を名乗り、堺の様々な魅力を東京に伝えることに奔走しました。

そして、何よりも「母校愛」と「与謝野晶子愛」はとて強く、晶子倶楽部の会員でもありました。

情熱の人生を全うした鈴木良之さん。本当にありがとうございました。

◎鈴木良之さんへのメッセージを募集します。

送信はこちらのQRコードからお願いします。⇒

なお、いただいたメッセージは、泉陽会ホームページの「東京泉陽会」欄に匿名で掲載の予定です。



令和元年度懇親会



第39回東京・江戸さんぽ



令和元年東京泉陽会総会



令和7年度懇親会



東京・さかい交流会(名刺)



令和6年東京泉陽会新年会



令和5年4月泉陽高校「晶子碑」前にて



木村英輝氏のアトリエにて



令和7年度総会

同窓会だより

24期生(昭和47年卒)同窓会

24期生 代表幹事 阪口 博之

令和6年11月16日、難波の「ホテル・ロイヤル・クラシック大阪」にて第5回同窓会を開催したところ111名の同窓生が参集、大いに旧交を温めることができました。昨年古稀を迎えたとは嘘のように、



皆さん澁漣としていました。

出席・欠席合わせて230名から寄せられた近況と、恩師の山本和男・松重享蔵・馬越かよ子各先生方から頂いたメッセージを載せた冊子を当日配付し、欠席者にも送付しました。会場では卒業アルバムの写真を上映したり、校歌や生徒歌を合唱したりするなど、あっという間に楽しく懐かしい時間が過ぎ去りました。

またいつか元気に再会できることを願いながら会場をあとにしました。

(編集者より)

皆さんの元気な笑顔に癒されます。今後もお元気で過ごされますよう、そして引き続き、母校へのご支援もよろしくお願いいたします。

第32期・第44周年同窓会

昨年9月28日(土)、「ホテル阪神大阪」にて、第32期・第44周年同窓会が盛大に開催され、無事に終了したことをご報告いたします。

今回は、還暦同窓会がコロナ禍の影響で延期となり、9年ぶりの同窓会となりました。

案内状の郵送に加え、DX(デジタルトランスフォーメーション)に挑戦し、Googleフォームを活用した出欠確認を実施しました。その結果、恩師3名、卒業生144名、二次会参加者101名と、多くの方にご参加いただき、尽きることのない思い出話に花が咲き、あっという間に時間が過ぎるとも楽しいひとときとなりました。



(編集者より)

久しぶりの同窓会で、幹事さんを中心に工夫を凝らしたとのこと。今後のさらなる活性化と母校へのご支援を願っています。

平成5年卒 45期生学年同窓会



令和7年2月1日(土)、「ホテル日航大阪4F孔雀の間」において、50歳になる節目の年に45期生同窓会を開催いたしました。

約30年ぶりの再会で、恩師の山内和夫先生、柴田崇博先生と卒業生88名が出席しました。

節分が近かったことから、先生から卒業生へ豆まきをし、景品付き抽選会、全員で写真撮影と3時間があっという間に感じる充実した時間を過ごせました。

今回の同窓会は55歳になる2029年に開催予定です。今後5年ごとに集まれたらと考えていますので、今回出席できなかった方も次回は是非参加をお待ちしております。

なお、これを見て同窓会の案内が届いていなかった方は、是非ともご連絡ください。

「目指せ300人!」……お待ちしております。

西村 徹 goritoru8121@gmail.com

(090-1916-7447)

西山 碧 midorizaru@gmail.com

(090-8530-2339)

(編集者より)

45期生は600名規模とのことで、今回の同窓会を機にどんどん繋がっていくことを期待しています。

今後とも、母校へのご支援をよろしくお願いいたします。

還暦 34期生(昭和57年卒)還暦同窓会

2023年10月22日、コロナ禍で延期を余儀なくされた還暦の記念同窓会を無事に開催しました。

ヒルトン大阪の35階スカイバンケット「ウィンドーズ」に143名が集いました! 快晴の当日はホテル最上階の大きな窓からの明るい陽射しを浴びて、美味しいお料理を頂きながら、昔話と近況報告に大いに盛り上がりました。今の泉陽高校の動画から昔との

違いを見つけるクイズに湧き、恩師からのビデオメッセージで当時を懐かしみながら、あっという間の3時間でした。名残を惜しみながらも再会を誓ってお開きとなりました。

次回の学年同窓会は2028年秋を予定しています。多くの皆様のご参加をお待ちしています。また元気にお会いしましょう!

34期第7回学年同窓会幹事 一同



成人 成人記念同窓会(令和5年卒・75期)

代表 山本 大朔(令和5年卒75期)

令和7年1月5日(日)に、南海本線堺駅前の「ホテル アゴラ・リージェンシー大阪堺」にて、「泉陽高校75期成人記念同窓会」を開催しました。

今年は8名の先生方を来賓としてお迎えし、卒業生253名が参加しました。

高校時代は、新型コロナウイルスの影響によりマスクをした状態での交流が多かったですが、感染拡大も少し収まった今は、マスクを付けなくてもよい状態で久しぶりの友人との顔合わせとなりました。数多くの方々の協力のもと、75期成人記念同窓会を無事に終えることができました。

また、高校時代を共にした仲間たちの協力のおかげで、豪華景品の抽選会や全体写真も撮影することができ、非常に充実した時間を過ごすことができました。

私にとっては、久しぶりの友人との再会で会話も弾み、あっという間の同窓会のように感じました。数年後、もう一度このような機会があることを楽しみに散会しました。

(編集者より)

人生の先輩として一言。「人生は山あり谷あり」です。これからも、様々な状況に遭遇することでしょう。

その時にしかできないことが必ずあります。そのチャンスを見逃さず「進取果敢」にチャレンジしてください!



泉陽むすびの会

会員様の良いご縁を願って活動しております。

平成6年の結成より31年、130組のカップルが誕生しました。身元がはっきりしていますので、安心して入会していただいております。

また、今年は新たに三校(三国ヶ丘、泉陽、岸和田)と合同委員会を結成して合同お見合い会などを計画しています。詳細はホームページに掲載していますのでご覧ください。入会をお待ちしています。

同時に委員会の委員も募集しています。現在8名の卒業生、40代から80代の男女の委員が和気あいあいと活動しています。仲間に入りませんか。定例会(第2土曜日12時30分から13時45分)に見学にお越しください。お待ちしております。



昨年の30周年記念懇親会にて

寄稿 ～私がエッセイストになれた理由～ 清 繭子(2001年卒 53期生)

はじめまして。53期生の清 繭子と申します。肩書きはライター、編集者。そして昨年、そこにエッセイストが加わりました。幻冬舎から『夢みるかかにご飯つぶ』というエッセイ集を刊行し、デビューしたのです。

はじまりは3年前。小説家になりたいと、17年間勤めた株式会社オレンジページを退社し、フリーのライター、編集者になりました。2人の幼子を育てながら会社勤めをし、なおかつ小説を書いて文学賞に応募するのには、時間が全然足りなかったからです。

その頃はまだコロナ禍で、私は40歳目前。フリーランスになったところで、仕事がもらえるかどうか分からない。夢のために、正社員の職を捨てるなんて……。我ながら無謀な挑戦でした。しかも、オレンジページには3人も泉陽の先輩がいて、とてもあたたかで居心地のいい職場だったのです。

それでも一度きりの人生、自分にワクワクしていたい――。

フリーになった私は、朝日新聞ブックサイト「好書好日」で、「小説家になりたい人が、なった人に聞いてみた。」という連載を始めました。小説家志望の私が、新人賞受賞者に悔しがりながらインタビューするという企画です。同時に投稿サイト「note」で小説家を目指して七転八倒する日々を綴っていたところ、編集者の目に留まり、「エッセイ集を出しませんか」とまさかの依頼が来たのです。

というわけで、小説家になるより前に、エッセイストになりました。

最近、よく聞かれます。「2児の母で40歳で、どうして夢に踏み出す勇氣を持てたんですか？」その理由のひとつに泉陽の日々があると感じます。

泉陽は私に青春をくれました。体育祭には「新団」という有志によるダンスの発表があり(今もあるのでしょうか)、上級生、下級生関係なしに朝練・夕練に励みました。片思いばかりで、彼氏はついにできませんでしたが、甘酸っぱい思い出はたくさん作ることができました。目を閉じれば今も、渡り廊下に響く軽音楽部の演奏や、野球部の

かけ声、雨に濡れた中庭の匂いがよみがえります。それらを今、引っ張り出してはせっせと文章にしています。

泉陽は私に友達をくれました。大学進学でひとり上京した私に、友達はしょっちゅう電話をくれ、4コマつきの手紙を送って笑わせてくれました。今でも、悩むことがあると決まって相談するのは泉陽の友達です。互いの誕生日を祝うたびに、このまま60歳も80歳も祝い合うのだろうと信じられる人がいることを心強く思います。

泉陽は私に自信をくれました。在学時、新聞に投書が載ったことがありました。誰にも言わなかったのに、国語の先生が気づいてプリントアウトし、授業で取り上げてくださいました。その先生から、答辞を依頼され、文章を練りました。自分の書いたものが求められる嬉しさを、あの時に知りました。

『夢ごは』が発売された時、泉陽の友達がみんな「〇〇に売ってたで」「Amazonで予約してたの届いたで」と本の写真とともに長い感想を送ってくれました。SNSで宣伝してくれた子もいました。たくさん褒めてくれました。

思えばずっと、友達は私の力を信じてくれました。「小説家になるために会社を辞める」と言ったとき、私の無謀な挑戦を笑う人は一人もいませんでした。執筆の気分転換にと、お香を贈ってくれた子、独立お祝いにと手作りの湯飲みを贈ってくれた子もいました。

「清やったら、だいじょうぶ」いつもそう言ってくれました。

私は今も小説を書いては賞に応募しています。エッセイストとしてもまだまだひよっこ。夢が叶うかどうかはわからない。このまま一発屋で終わったら、と不安に苛まれる日もあります。だけど、自分に期待して、夢をみているこの日々は、毎日が泉陽祭前夜のようにとても充実しています。

いつか小説家デビューも果たし、友達にドヤ顔で言ってもらいたい。「ほらな、だいじょうぶって言ったやろ？」



【プロフィール】
清 繭子(2001年卒、53期)
1982年生まれ、早稲田大学政治経済学部卒。(株)オレンジページで雑誌、漫画、絵本等の編集に携わったのち、小説家を目指してフリーのエディター、ライターに。2024年7月『夢みるかかにご飯つぶ』(幻冬舎)でエッセイストデビュー。2025年4月よりNHK出版運営のnote「本がひらく」<https://nhkbook-hiraku.com/>にて、新連載「ママも踊っていいかしらん！」がスタート。



【夢みるかかにご飯つぶ】
二児の母である著者が40歳目前で会社を辞め、小説家を目指す。母になっても、四十になっても、まだ「何者か」になりたいんだ。私に期待していたんだ――。子どもの食べこぼしたご飯つぶをかかにご飯つぶをこぼしながら、今日も清は夢をみる。

大学合格状況

令和6年度大学合格状況

国立大学

公立大学

私立大学①

私立大学②

私立大学③

	合格者数	大学名	合格者数	大学名	合格者数	大学名	合格者数	大学名	合格者数	大学名	合格者数
国立大学	72	和歌山	33	大阪公立	31	近畿	440	京都産業	7	千葉科学	1
公立大学	53	大阪教育	6	兵庫県立	4	関西	204	桃山学院	7	岐阜医療科学	1
私立大学	1,246	大阪	4	和歌山県立医	3	関西学院	99	関西医科	6	京都芸術	1
		神戸	4	岐阜薬科	2	立命館	71	関西医療	6	佛教	1
		三重	3	滋賀県立	2	龍谷	51	大阪経済	5	成安造形	1
		奈良女子	3	京都市立芸術	2	同志社	50	畿央	5	嵯峨美術	1
		静岡	2	神戸市外国語	2	同志社女子	42	京都外国語	4	大阪歯科	1
		奈良教育	2	金沢美術工芸	1	関西外国語	33	京都美術工芸	4	大阪芸術	1
		岡山	2	愛知県立	1	武庫川女子	30	四天王寺	4	大阪成蹊	1
		高知	2	名古屋市立	1	追手門学院	27	神戸女学院	4	大阪電気通信	1
		九州	2	三重県立看護	1	大阪工業	23	大阪医科薬科	3	羽衣国際	1
		東北	1	奈良県立医	1	大和	18	川崎医療福祉	3	甲南女子	1
		千葉	1	島根県立	1	大阪産業	18	京都橘	2	神戸薬科	1
		横浜国立	1	下関市立	1	大阪経済法科	17	京都薬科	2	就実	1
		信州	1	合計	53	摂南	15	関西福祉科学	2	合計	1,246
		金沢	1			甲南	14	森ノ宮医療	2		
		名古屋工業	1			京都女子	12	神戸女子	2		
		広島	1								
		徳島	1								
		長崎	1								
		合計	72								

◎詳細については表紙のQRコード(赤枠)で確認できます。

77期 クラス幹事の皆さん(下線は代議員)

- 1組 西尾 友希 三谷 絢音
- 2組 箱嶋 風香 横田 純也
- 3組 山下琥太郎 山本あかり
- 4組 辛川 寧衣 山野 皓平
- 5組 内垣 理子 大木 咲愛 高熊 雄大
- 天雲菜々海 祐仙 彩妃
- 6組 古森 妃夏 松尾 蔵真
- 7組 宮本 悠希 森本 智紗
- 8組 阿部 小春 松本 航星 下線は代議員です。



(編集者より)

今後は泉陽会にいろいろな情報を送ってください。(送信先は「koho@senyokai.jp」です)特に、代議員の方は、「代議員会」が泉陽会館で年3回行われますので、自分が母校にできる事を探しに来ませんか。(代議員会の日程は、表紙のQRコード(赤枠)の「泉陽会2025年度日程表」で確認できます)

令和7年度 教職員異動

2025. 4. 1 現在

転 出					転 入				
職名	教科	氏 名	転出先	備 考	職名	教科	氏 名	転入元	よみがな
教諭	国語	長谷部朋子	長野高		教諭	社会	奥野 博基	日根野高	おくの ひろき
	社会	仲谷 和泰		定年退職		数学	谷川 晃平	咲くやこの花高	たにかわ こうへい
	理科	鈴木 克一	伯太高			数学	吉川 大貴	工芸高	きっかわ だいき
	英語	高橋 信之	久米田高			理科	田中隆太郎	天王寺高	たなか りゅうたろう
	英語	田辺 恵美	宮崎県	退職		英語	石橋 裕子	りんくう翔南高	いしばし ひろこ
実習教員		桐島 誠子	港南造形高		英語	平原 りか	泉北高	ひらはら りか	
再任用	国語	高松 敬明	本校(非常勤)	再任用満了	実習教員	英語	溝端 愛	大教大付属天王寺高	みぞばた まな
	社会	浅野 典夫	本校(非常勤)	再任用満了		英語	駒谷 武尊	守口東高	こまたに たける
	数学	大住 陽一	本校(非常勤)	再任用満了			田坂 律子	工芸高	たさか りつこ
	数学	鳥山 祐一		退職		講師	国語	岡上 祐一	淀川清流高
講師	英語	中川 明則	いちりつ(非常勤)	再任用満了	講師	理科	石原 弘崇	農芸高	いしはら ひろたか
	理科	浅野 慎司	三国丘(非常勤)	退職		事務	主査	谷脇由紀子	今宮工科高
事務	主査	増田 実	成美高		事務		副主査	藤澤 良平	富田林高
	副主査	玉置三希子	伯太高						

伝言板

皆川真智子さん(昭和31年卒8期生)

プロ野球南海ホークスの往年の大投手「皆川陸雄」氏の奥様。陸雄氏は野村克也氏と同期入団で、共に南海ホークス黄金期の主力でした。日本プロ野球界で221勝(タイトル計4回)を挙げ、最後の年間30勝投手です。

宮本雅己さん(昭和58年卒35期生)

京都伊勢丹「穂のあかり」の和菓子パティシエ。自身も北野田の古民家で「おーがにっくかふえSHINKA」を経営。

かつての「TVチャンピオン(全国ケーキ職人選手権)」での優勝者。(1995年6月15日テレビ東京系で放映)

広告掲載を始めます!

泉陽会活動の活性化を目的として、「会報いづみ」と「泉陽会ホームページ」で広告掲載を始めます。掲載募集については、決まりしだい泉陽会ホームページでお知らせします。

人材バンクへの登録をお願いします!

様々な分野での経験により、その知識や技術を豊富に身に付けている会員の皆様へ。人材バンクに登録していただき、フィードバックをされてみてはどうでしょうか?(登録は泉陽会ホームページの「泉陽会2.0」からどうぞ)

泉陽会が母校の「体育祭」と「文化祭」へ参加します!

泉陽会の広報の一環として、在校生の皆さんへの認知度の向上を図るため、今年度から母校の行事である「体育祭」と「文化祭」に参加します。在校生の皆さんに「先輩たち、卒業しても楽しそうにしてるなぁ」と思ってもらいたいです。

12期生(昭和35年卒)同窓会開催のお知らせ

日時: 令和7年10月16日(木)12時~

場所: 南海グリル東店

詳細は後日お送りする案内状をご覧ください。

当番幹事 ⑥中野輝雄 ④志尾喜久子 ③?

皆様のご出席をお待ちしています。

母校を応援したい方へ!!

「大阪府教育ゆめ基金」で母校の教育活動等をふるさと納税として支援することができます。

詳しくは、
こちらの「QRコード」で検索を!!⇒



23期生の状況について

令和6年6月3日(月)、スイスホテル南海大阪で、79名の参加者で学年同窓会を開催し、楽しいひとときを過ごしました。私達は、70歳を越えましたが、今後も学年同窓会を継続する事に決めました。次回は、2年後(令和8年)に開催する予定です。皆さんと再会できる事を楽しみにしています。なお、学年同窓会の残金と2次会の残金は泉陽会に寄附しました。

幹事代表 阿比野節子

昭和46年卒23期生のホームページが開設されており、同窓会などの様々な情報が閲覧できます。アクセスについての詳細は「泉陽会ホームページ」→「リンク」→「期別」で確認してください。

追悼

渋田勝彦さん(昭和37年卒14期生)

令和6年2月29日ご逝去

泉陽高校で教鞭を執られたこともあり、泉陽会の副会長や泉陸会(泉陽高校の教師のOB会)の副会長も歴任され、「二十歳の会」のご指導もいただきました。

林 茂さん(昭和42年卒19期生)

令和6年12月17日ご逝去

普段から「母校愛」を家族に語って来られ、「会報いづみ」をすべて大切に保管されるなど、泉陽OBであることを誇りにされていたとのこと。

編集後記

「この会報って、ほんまに本人に届いてるんやろか?」というのが、今の私の心配事です。就職、進学、結婚などに伴う転居により、「会報いづみ」が直接手元に届かない方には、「泉陽会のホームページでも見れるで!」と教えてあげてください。(住所変更については、泉陽会ホームページからお願いします)

ところで、今回も、編集及び発行にあたり、宏和印刷の泉谷さん、小田さんには大変お世話になりました。この場をお借りしてお礼を申し上げます。

(29期 大浜誠一郎)